

宣教支援センターだより  
2022年9月号

先日ひさしぶりに防府教会の山時松江牧師からお電話をいただきました。最近、私と同年の壮年の方がバプテスマを受けたそうです。シオン山教会でも10月にバプテスマ式が予定されていることをお伝えし、お祈りをお願いしました。

### ■バプテスト教会の世界

#### その6 バプテスマの主体

私が宮城県の大富キリスト教会で牧師を務めていた時に、教会員の娘さん（小学1年生）に信仰の決心が与えられました。私とバプテスマ準備クラスを始めて、3か月にわたる学びを経て、信仰告白を書き上げることができました。

バプテスマ式に先立って、協力牧師の金子純雄先生が教会のみなさんにお話しされたことを、私は鮮明に覚えています。それはバプテスト教会の存立にかかわる、きわめて重要な事柄でした。

「バプテスマ式を執行するのは齊藤牧師です。けれども、バプテスマを受ける主体は大富キリスト教会です。小学1年生にバプテスマを受けるわけだから、彼女の信仰の成長を見守り、かわり続ける私たちの側の覚悟が問われています」。

私たちは「〇〇牧師にバプテスマを受けていただきました」と当たり前のように話します。しかしながら、バプテスマを受ける主体は「教会」なのです。

バプテスマ後のフォローが不十分ですと、早々に人間関係につまずいてしまい、

教会を離れてしまうことがあります。

人を信じるのではなく、十字架と復活のキリストを信じるのが大切です。

主日に礼拝をささげること。教会に連なる方がたと言葉を交わすこと。日常の教会生活が、信仰成長の糧になります。

### ■協力伝道ミーティング

9月25日（日）14時30分からシオン山教会にて協力伝道ミーティングを行います。次期宣教支援センターの中期活動計画、同資金計画の最終案をお示しするほか、次期宣教支援センター主事候補者のお名前を発表いたします。

10月30日（日）15時からシオン山教会にて行う地方連合臨時総会に向けた備えの時です。ご予約ください。

### ■今月の予定

- 4日（日）シオン山教会礼拝出席
- 5日（月）地方連合牧師会参加
- 9日（金）大分地区牧師会陪席
- 11日（日）直方教会礼拝出席
- 13日（火）遠賀川流域教会牧師会陪席
- 17日（土）伝道委員会陪席
- 18日（日）小倉教会礼拝出席
- 20日（火）総務財務委員会陪席
- 22日（木）地方連合役員会出席
- 23日（金）神奈川連合の集い（講師）
- 25日（日）高須教会礼拝出席

### ■編集後記

9月から大分教会と臼杵教会の有志を対象に、信徒説教者養成講座を始めます。一人の信徒説教者に、牧師と地方連合のコーディネーターが伴走する、対話的な学びを目指しています。（齊藤弘司）